



ほけんだより

2022 10月 りすのき保育園 NO.8

季節は秋になりました。自然に触れ、何かを作ったり考えたり、季節の美味しいものを食べるなど、たくさんの秋を楽しみたいと思います。
急に肌寒くなってきたので、風邪など引かないように、お帰りの際は1枚羽織るなど、夕方は暖かい服装でお帰り下さい。

今月の予定

身体測定 19日(水) 全クラス

乳児健康診断 24日(月) くるみ・なつめ・まつぼっくりのクラスがおこないます。

PM 3:00 ~ 大池先生による診察です。幼児は来月おこないます。

園内での感染症について

コロナウィルス感染症や、RSウィルス、ヒトメタニューモ、胃腸炎などの発症がありました。昨年と比べて、感染症の発症は増えてくる傾向にあります。感染症にかかったときは、医師の指示通り、症状が落ち着いてからの登園をお願いいたします。また、感染症と診断された時は、登園時に伝えて頂けると、園でも大事に過ごすことができますので、よろしくお願いいたします。

< かしのみ、しいのみの部屋では、視力・色覚・聴力検査をいたします。 >

10月10日は、「目の愛護デー」です。目を大切にすることをみんなで考えましょう。という日です。かしのみさんは、就学時健診で目の検査をするということもあり、毎年10月に入ると保育園でも少人数ずつ視力、聴力検査をしています。はじめてのことでドキドキしてしまって、上手にできないお子さんもいると思いますので、丁寧に行いたいと思います。

しいのみさんは、来年もあるので、無理なく様子を見て行います。

結果は、健康カードでお伝えいたしますのでご覧ください。
普段の生活から、視力にご心配なことなどありましたら、遠慮なく声をかけてください。



子どもの目の 健やかな成長 のために

目覚ましく視力の発達する0~6歳くらいまでの間は、子どもの目のために特に大切な時期。

でも、子どもは自分では目の異常がわかりません。周りの大人がサインに気づいて、なるべく早く専門医に繋げることが重要です。小児に強い先生を見つけておきましょう。

よく見えていない サインかも?

こんなときは
早めに病院へ!

1 ものを見るとき

●極端に顔を近づける



●顔を傾けて見る



●片方または
両方の目を細める



2 見た目

●寄り目になっている
目の方向がずれている



●眼球が振動している



●目の色が濁っている



3 動作など

●反応が鈍い



●集中力がなく、
飽きっぽい



○ 子どもの視力検査のはなし ○

3歳になると視力検査ができるようになってきて、ほぼ正確に視力がわかるようになります。

正常なら、3歳を過ぎるとほぼ1.0の視力がありますが、検査に慣れていないことも多いので、0.7くらいでも正常と判断します。

気をつけたい

子どもの弱視



視力が育つ途中で、斜視や屈折異常など何らかの異常によって発達が妨げられると、見たものを脳に伝える回路の成長が未発達のまま止まってしまいます。これが「弱視」です。

弱視は早期発見、早期治療が鍵。大きくなってからは治療が間に合わないこともあります。